I-O DATA

B-MANU201136-01
M-MANU200607-01

LAN DISK Home

HDLP-G シリーズ

必ずお読みください

箱の中を確認する

- ☐ 本体(1台)
- ☐ LANストレートケーブル (1本)
- ☐ USBケーブル(1本)
- ☐ ACアダプター(1個)
- ☐ セットアップガイド(1枚)
- ☐ <レグザ>接続マニュアル(1枚)
- ☑ 必ずお読みください(1枚) [本紙]

ユーザー登録とサポートソフトのダウンロード

ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードは、次のサイトで行えます。
その際は、シリアル番号(S/N)が必要です。シリアル番号(S/N)は本製品に貼られているシールに「ABC0987654ZX」のように印字してあります。

- ・ユーザー登録　http://www.iodata.jp/regist/
- ・サポートソフトのダウンロード　http://www.iodata.jp/lib/

動作環境

パソコン

本製品は、「LANインターフェイス及びUSBポートを搭載し、TCP/IPが正常に動作するパソコン」に対応しています。
また、以下のOSでご使用の場合のみ、サポート対象とさせていただいております。
※LAN環境に関しての詳細は、【LAN接続モード時のご注意】をご覧ください。
※USBポートに関しての詳細は、【USB接続モード時のご注意】をご覧ください。

機種	OS
・DOS/Vマシン	・Windows Vista®(32ビット版) ・Windows XP(32ビット版) ・Windows 2000
・Apple Macintoshシリーズ	・Mac OS X (10.4以降)

設定に必要なソフトウェア

本製品を設定するには、以下のいずれかのバージョンのWebブラウザーが必要です。
- ・Internet Explorer バージョン6.0以上
- ・Safari バージョン3.0以上

本製品のUSB[HOST]ポートにつながる機器 (最新情報は、弊社ホームページの製品情報をご覧ください。)

◆弊社製ハードディスク
- ・RHD-UXシリーズ　・RHD2-Uシリーズ※1　・USB2-iVDRシリーズ
- ・HDH-USR2シリーズ　・HDCN-Uシリーズ　・HDCN-UEシリーズ
- ・HDC2-Uシリーズ※1　・RHD4-UXEシリーズ　・HDP-USシリーズ※2
- ・HDPG-SUシリーズ※2　・HDPG-SUXシリーズ※2

※1 ミラーリングモード、ストライピングモードのみ対応です。
※2 ACアダプターによる電源供給が必要です。

◆USB対応デジカメ、USBメモリー
動作確認済み機種については、弊社ホームページの製品情報をご覧ください。

注意
- ●バスパワーモードのハードディスクは接続できません。
ハードディスクを接続する場合は、セルフパワーモードでご利用ください。
- ●デジカメはUSBマスストレージクラスまたはPTPの転送に対応している必要があります。
- ●USBハブは接続できません。
- ●省電力設定の対応機器は、弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/)をご覧ください。(省電力設定の動作確認機種以外には省電力設定を有効にしないでください。)
- ●iSPIS対応ハードディスクを本製品でご利用いただく場合、iSPIS機能は使用できません。
- ●USB[HOST]ポートにパソコンを接続して使用することはできません。

各部の名称・機能

名　称	機　能
①[STATUS]ランプ	青点灯：LAN接続モードで動作中 青点滅：LAN接続モードで処理中(起動/終了/設定中など) 赤点滅：LAN接続モードでエラー 緑点灯：USB接続モードで動作中 緑点滅：USB接続モードでアクセス中 消灯：電源が切れている状態
②[POWER]ボタン	本製品の電源を入/切します。 ※USBハードディスクとして使用する場合は、動作しません。
③[RESET]ボタン	本製品のLAN接続モードの設定を初期化します。 ※LAN接続モード時のみ動作します。(USB接続モード時は動作しません。) ※初期化方法は、【画面で見るマニュアル】をご覧ください。
④DCジャック	添付のACアダプターを接続します。
⑤LANポート	添付のLANケーブルを接続します。
⑥USB[HOST]ポート	USB機器を接続します。 ※接続できるUSB機器については、【本製品のUSB[HOST]ポートにつながる機器】をご覧ください。
⑦USBポート	添付のUSBケーブルを接続します。 ※本製品とパソコンをUSBで接続し、USBハードディスクとして使用できます。

使用上のご注意

■操作中(設定の変更やファイルのコピー中など)に本製品の電源を切ったり、ケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
■本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの補償は一切いたしかねます。故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。
■本製品は、USB接続・LAN接続に対応しています。USB接続モードとLAN接続モードを同時に使うことはできません。
■USB接続モード、LAN接続モードの両方で同じフォルダを使用したい場合は、LAN接続モードでフォルダを作成してください。
USB接続モードで作成したフォルダは、LAN接続モードでは使用できません。
■本製品内蔵ハードディスクは、NTFSでフォーマットされています。LAN接続モードでは、NTFSの各種属性(暗号ファイル・圧縮ファイル等)には対応しておりません。
■本製品をUSB接続モード時にフォーマットしないでください。フォーマットを行う場合は、LAN接続モードで行ってください。
■本製品はハードディスクの中にサポートソフトが入っています。フォーマットを実行するとサポートソフトも消去されます。
フォーマットを行った場合は、弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/lib/)からサポートソフトをダウンロードしてください。
■設定画面で表示されるハードディスク使用領域とWindowsからネットワークドライブに割り当ててプロパティから見た使用領域の値は大きく異なります。
本製品で使用するファームウェアの表示における仕様で、ハードディスク側には問題はありません。正しい使用領域は、本製品の設定画面からご確認ください。
■本製品に対してチェックディスクを行う場合は、対応OSのWindowsパソコンへUSB接続モードで接続して行ってください。
■WindowsとMac OSで共有する場合、Windows上から見ると、見覚えの無いファイルやフォルダが見える場合があります。
これは、Mac OSで、フォルダを作成したりファイルをコピーした際に、作成したファイル(フォルダ)の他に、別のファイル(フォルダ)が作成されるためです。
このファイル(フォルダ)には、Mac OSユーザー用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。
■Mac OSのTimeMachine機能でのご利用は保証外となります。

LAN接続モード時のご注意

■本製品は、DHCPサーバーがある環境では、自動的にDHCPサーバーよりIPアドレスが割り当てられるため、本製品のIPアドレスを設定する必要はありません。ただし、DHCPサーバーのない環境(パソコンにそれぞれ固定のIPアドレスを設定している環境)では、ネットワークに応じたIPアドレスを設定する必要があります。(設定方法は、【画面で見るマニュアル】をご覧ください。)
■本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。また、インターネット経由でのアクセスにつきましては、リモートアクセス、マイウェブサーバー、ホームメディアリンク機能のみの動作保証となります。
本製品にグローバルIP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保を行ってください。
■同じネットワークに本製品を複数台導入する場合は、本製品の[IPアドレス]を別のものに変更する必要があります。(設定方法は、【画面で見るマニュアル】をご覧ください。)
■LAN接続時はバスパワーで動作しません。必ず添付のACアダプターを接続してください。
■複数のパソコンを接続する場合は、ハブ(ルーターなど)が必要となります。
■無線LANで接続する場合は、無線アクセスポイントと無線LANアダプターを接続したパソコンが必要となります。
■LAN接続モードでご使用の場合は、本製品の時刻を正しく合わせておく必要があります。インターネットに接続可能な環境で、起動時にタイムサーバーと同期する設定でのご使用をおすすめします。(EasySetupでの設定時に有効となります。)

ネットワークで共有する場合の注意

■ファイヤーウォールソフトをお使いの場合、本製品へアクセスできない場合があります。その場合、ファイヤーウォールソフト側で、137～139番、445番のポートにアクセス許可する設定を行ってください。
■接続可能端末数について
本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数について、Windowsでは制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。

Windows	推奨する同時接続台数は8台まで(ネットワークドライブの割り当ても同様です。)
Mac OS	推奨する同時接続台数は8台まで(最大16台まで)

■本製品に保存できるファイルやフォルダ名は、右の文字数までとなります。

Windows	半角255文字(全角85文字)まで　※使用する文字によっては、使用可能な文字数が少なくなる場合があります。
Mac OS	半角255文字(全角85文字)まで

■リモートアクセス機能
同時接続クライアント数は、3クライアントまでです。
■ホームメディアリンク機能
- ・1台のLAN DISK homeとホームメディアリンククライアントは、2クライアントまで接続できます。
- ・同時再生は2台まで対応しています。複数のホームメディアリンククライアントで接続する場合は、トータルで2台まで再生できます。

LAN接続モード時のご注意(つづき)

共有、ユーザーの設定時の注意

■本製品出荷時には、本製品に接続できるすべてのユーザーが読み書きできる[disk]、[dlna]、[itunes]という共有フォルダがあります。
新規に共有フォルダを作成することもできます。
■本製品のLAN接続モードでは、管理者はすべての共有フォルダにアクセスする権限をもっています。(Windowsパソコンからアクセスする場合のみ)
セキュリティのため、共有フォルダにアクセス時のパスワードを定期的に変更することをおすすめします。
また、USB接続モードでは全ての共有フォルダにアクセスできますのでご注意ください。
■本製品に作成する共有フォルダには、[全てのユーザー] [指定ユーザー]でアクセス制限を設定することができます。
■本製品に登録可能なユーザー数は最大8個まで、共有フォルダ数は最大16個までとなります。
■ユーザー名には数字のみの名称は設定できません。
■コンピュータ名(LANDISK)に、数字やハイフン(-)で始まる名称は使用できません。
■共有名に、スペースは使用できません。
■共有名、ユーザー名(小文字のみ)、パスワードはすべて、半角英数字(ASCII文字)のみが有効となります。
※設定時に使用できる文字や文字数には制限があります。詳細は、【画面で見るマニュアル】をお読みください。

USB[HOST]ポートへUSB機器を接続する際の注意

■USB[HOST]ポートに接続できる機器については、【本製品のUSB[HOST]ポートにつながる機器】をご覧ください。
■USB[HOST]ポートには、対応機器以外の機器は接続しないでください。
※USBハブも接続できません。最新の対応USB機器は、弊社ホームページhttp://www.iodata.jp/をご覧ください。
■デジカメコピー機能やUSBクイックコピー機能使用時の注意
- ・コピー開始、終了、エラーはブザーや[STATUS]ランプで確認してください。
  - コピー正常時：　ピッピッピッというブザー音とともに[STATUS]ランプが青点灯
  - コピー失敗時：　ピーピーピーというブザー音とともに[STATUS]ランプが赤点滅
- ・必ず、転送が完了した後、転送内容をパソコンなどによりご確認ください。写真などのデータが消失した場合でも、弊社では補償は一切いたしかねます。

■ファイルコピー中に、USB[HOST]ポートに接続した機器の接続や取り外しをしたり、本製品やハードディスクの電源を切らないでください。
コピーの処理が正常に行われません。本製品の[STATUS]ランプを確認の上、電源を切ってください。
■デジカメコピーやクイックコピーでは、マスストレージもしくはPTP転送に対応し、FATまたはNTFS形式のデジカメ、USBメモリーが使用可能です。
■PTP転送時は、1ファイルの大きさが1.5GB以下のファイルのみ対応となります。
■マスストレージモードとPTPモードを切り替えできるデジカメは、マスストレージモードでご利用ください。
■デジカメバックアップ機能で使用できる外付ハードディスクはFATフォーマットのみとなります。

USB接続モード時のご注意

■USB 2.0インターフェイスでの動作は、弊社製USB 2.0インターフェイスにおいて確認を行っております。
その他のインターフェイスとの動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合せください。
■USB 2.0でご使用いただくには、USBポートおよびOSがUSB 2.0に対応している必要があります。
対応していない場合は、USB 1.1として動作します。
■[POWER]ボタンは押さないでください。本製品を添付のUSBケーブルでパソコンに接続する場合、自動的に電源が入ります。
■お使いの環境によっては、本製品を動作させるための十分な電源が足りない場合があります。
このような場合は、添付のACアダプターを接続してご利用ください。
■本製品を添付のUSBケーブルでパソコンに接続する場合、右の画面のようなフォルダおよびファイルが表示されます。
次のフォルダおよびファイルは消去しないでください。
※本製品をUSB接続モード時にフォーマットしないでください。
[Autorun]、[disk]、[dlna]、[itunes]、[SupportSoft]、[Autorun.inf]、[EasySetup.ini]、[MAC.DMG]

名前	サイズ	種類	更新日時
Autorun		ファイル フォルダ	2009/02/27 18:43
disk		ファイル フォルダ	2009/01/06 10:46
dlna		ファイル フォルダ	2009/01/06 10:46
itunes		ファイル フォルダ	2009/01/06 10:46
SupportSoft		ファイル フォルダ	2009/02/26 19:26
Autorun.inf	1 KB	セットアップ情報	2009/03/10 9:58
EasySetup.ini	1 KB	構成設定	2009/03/10 9:57
MAC.DMG	40,992 KB	DMG ファイル	2009/02/27 19:40

■USB 接続モードで保存したデータを、LAN 接続モードでも使用したい場合は、[disk],[dlna],[itunes]フォルダにデータを保存してください。
[dina]フォルダはDLNA クライアント公開用の共有フォルダです。DLNA で公開するコンテンツのみ保存してください。ネットワーク接続時に、他のDLNA対応機器から中のデータを参照できます。
[itunes]フォルダはiTunes サービス公開用の共有フォルダです。iTunes で公開するコンテンツのみ保存してください。ネットワーク接続時に他のパソコンのiTunesからデータを参照できます。
■USB接続モード時は、USB[HOST]ポートにUSB機器を接続しても使用できません。
■Mac OSでご使用の場合、USB接続モード時は読み取り専用となります。Mas OSでUSB接続する際は、OS標準NTFSドライバの仕様で動作します。

パソコンのIPアドレスの確認方法

パソコンのIPアドレスの確認手順について説明しています。
また、ネットワーク内にDHCPサーバーがあるかどうかの確認手順についても説明しています。

パソコンのIPアドレスの確認方法

パソコンのIPアドレスは以下のような画面で確認できます。確認手順および画面は、ご利用になっているOSによって異なります。
※DHCPサーバーよりIPアドレスを取得している場合はこの画面では確認できません。下の【DHCPサーバーの確認方法】の項を参照してください。

> パソコンのIPアドレスは、添付ソフトウェア「Magical Finder」でも確認できます。
> ①「Magical Finder」で本製品を選択し、[IP設定]ボタンをクリックします。
> ②表示された画面下に[このコンピュータのIPアドレス]の項目に表示されている内容が現在のパソコンのIPアドレスなどの設定です。
> ※「Magical Finder」でパソコンのIPアドレスを変更することはできません。

Windows Vista®の場合

❶ [スタート]→[ネットワーク]をクリックし、[ネットワークと共有センター]をクリックします。
❷ [状態の表示]をクリックします。
❸ [プロパティ]をクリックします。
❹ [ユーザーアカウント制御]の確認画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックします。
❺ [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。
右のような画面が表示されます。

Windows XP/2000の場合

▼Windows XPでの例

❶ [スタート]をクリック後、[マイネットワーク]を右クリックし、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。
※Windows 2000の場合は、デスクトップ上の[マイネットワーク]アイコンを右クリックし、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。
❷ [ローカルエリア接続]アイコンを右クリックし、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。
→[ローカルエリア接続のプロパティ]画面が表示されます。
❸ 一覧内の[インターネット プロトコル(TCP/IP)]をクリック後、[プロパティ]ボタンをクリックします。
右のような画面が表示されます。

Mac OS Xの場合

▼Mac OS X(10.5)での例

❶ [アップルメニュー]→[システム環境設定]→[ネットワーク]をクリックします。
→[ネットワーク]画面が表示されます。
❷ 左側の[表示]欄で[Ethernet]を選択します。
右のような画面が表示されます。

DHCPサーバーの確認方法

ご利用のネットワーク内にDHCPサーバーがあるかどうか(動作しているかどうか)は、パソコン上から確認することができます。
※通常、ご使用のネットワーク環境に、「ブロードバンドルーター」「ルーター機能付きのADSLモデム」「Windows NT系のサーバー」などがある場合は、これらのDHCPサーバー機能を使用している可能性があります。
以下の手順で表示される一覧の「DHCP Server」(「DHCPサーバー」)欄にIPアドレスが表示される場合は、DHCPサーバーがあると判断できます。

Windows Vista®の場合

❶ [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を開きます。
❷ IPCONFIG -ALL(Gと-の間にスペースが入ります)と入力してEnterキーを押します。
❸ 表示された一覧中の[DHCP有効]欄に「有効」と表示されていれば、DHCPサーバーがあると判断できます。

Windows XP/2000の場合

❶ [スタート]→[(すべての)プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を開きます。
❷ IPCONFIG -ALL(Gと-の間にスペースが入ります)と入力してEnterキーを押します。
❸ 表示された一覧中の[DHCP Server]欄にIPアドレス(DHCPサーバーのIPアドレス)が表示されていれば、DHCPサーバーがあると判断できます。

Mac OS Xの場合

ご使用のDHCPサーバーの機能が搭載されている機器の取扱説明書などをご覧ください。

> 上記【パソコンのIPアドレスの確認】手順の画面で、[IPv4を設定:](または[設定:])欄が、「DHCPサーバを参照」となっている場合は、DHCPサーバーがあると判断できます。

必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

● 警告および注意表示

⚠危険	ここの表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● 絵記号の意味

△	この記号は注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。	例 「発火注意」を表す絵表示
⊘	この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。	例 「分解禁止」を表す絵表示
●	この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。	例 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 危険

本製品を修理・分解・改造しないでください。
火災や感電、やけど、故障の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

⚠ 警告

本体を濡らしたり、浴室等では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
浴室、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

濡れた手で本製品を扱わないでください。
感電や、本製品の故障の原因となります。

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントに接続しないでください。発熱、火災の恐れがあります。

電源プラグをコンセントに完全に差し込んでください。
ショート、発熱の原因となり、火災、感電の恐れがあります。

本製品の接続、取り外しの際は、必ずセットアップガイドで、接続・取り外し方法をご確認ください。
間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

ACアダプター・電源ケーブルについては以下にご注意ください。

●必ず添付または指定のACアダプター・電源ケーブルを使用してください。
●ケーブル部分を加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●ACアダプター・電源ケーブルをコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブル部分を引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
●ACアダプター・電源ケーブルの電源プラグは、濡れた手でコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
●ACアダプター・電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本製品およびパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
●本製品を長時間使わない場合は、ACアダプター・電源ケーブルをコンセントから抜いてください。ACアダプター・電源ケーブルを長時間接続していると、電力消費・発熱します。
●ACアダプター・電源ケーブルにものを乗せたり、かぶせたりしないでください。
●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。(じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発砲スチロールなど)
●添付のACアダプター・電源ケーブルは本製品専用であるため、他の機器に取り付けないでください。他の機器に取り付けると、火災および感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの補償は一切いたしかねます。
故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かないでください。
周辺に放熱を妨げる物を置かないでください。

動作中にシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きACタップのスイッチをOFFにするなどして電源を切らないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

[STATUS]ランプが点滅・点灯中に(動作中にシャットダウンを完了せずに)、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きACタップのスイッチをOFFにするなどして電源を切らないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

動作中にケーブルを抜かないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

本製品内部を結露させたまま使わないでください。
時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

本体についた汚れなどを落とす場合、柔らかい布で乾拭きしてください。
●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めて使用してください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

本製品内部およびコネクター部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

本製品は以下のような場所(環境)で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。
●振動や衝撃の加わる場所
●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所
●温湿度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒータなど)
●強い磁力・電波の発生する物の近く
(磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など)
●水気の多い場所
(台所、浴室など)
●傾いた場所
●腐食性ガス雰囲気中(Cl2、H2S、NH3、SO2、NOxなど)
●静電気の影響の強い場所
●保温性・保湿性の高い(じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど)場所での使用(保管は構いません)

本製品は精密機器です。以下のことにご注意ください。
●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●そばで飲食・喫煙などをしない
●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

本製品のコネクター部分には触れないでください。
コネクタ部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。
接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

本体が熱いときはさわらないでください。
本製品が動作中や停止直後は、本体が熱い場合がありますのでご注意ください。

> この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

使用ソフトウェアについて

本製品には、GNU General Public License Version2. June 1991に基づいた、ソフトウェアが含まれています。
変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

製品を廃棄あるいは譲渡などされる際の注意事項

■ハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性がありえます。

> ・ハードディスク上のソフトウェアについて
> ハードディスク上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

■情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。
■本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

サポートセンターへのお問い合わせ

①弊社ホームページをご確認ください。

オンラインマニュアルの【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsなど」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

製品Q&AやNewsなど **http://www.iodata.jp/support/**

また、サポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポートライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

最新サポートソフト **http://www.iodata.jp/lib/**

②それでも解決できない場合は、下記にお問い合わせください。

住所: 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
電話: 本社…076-260-3644 東京…03-3254-1144
※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX: 本社…076-260-3360 東京…03-3254-9055
インターネット: http://www.iodata.jp/support/

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。
1.ご使用の弊社製品名
2.ご使用のパソコン本体の型番
3.ご使用のOSのバージョン
4.トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態(画面の状態やエラーメッセージなどの内容)

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

■検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。
(厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。)
※データに関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
■弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」の「保証適応外」の内容に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。)修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

製品名、シリアル番号(製品に貼付されたシールに記載されています。)、送付日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書(コピー不可)
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■下記の内容を書いたもの
返送先[住所/氏名/(あれば)FAX番号]、日中に連絡可能な電話番号、使用環境(機器構成、OSなど)、故障状況(どうなったか)

●修理品を梱包してください

■上記で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

■修理は、下記の送付先までお送りください。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。
送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

【送付先】〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは 法律で禁じられて います。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設 備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for anydamages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan andprovide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター: 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ: http://www.iodata.jp/support/
2009.3.26 発行